

こども本の森構想推進事業 概要

概要

1 経過

令和元年

- 1月 市へ赤坂所長、西館顧問から「こども向け本の施設」について提案
- 6月 遠野文化研究センター運営委員会内に「検討チーム」設置
- 7月 安藤忠雄建築研究所を市長訪問
安藤忠雄氏から遠野市に「こども向け本の施設」を寄贈したいとの申出
- 8月 安藤忠雄氏講演会 at 遠野市 開催
「遠野市から地方都市の可能性を考える」と題し講演約600名の参加
- 10月 検討チームが市長にプロジェクトの「コンセプト・シート」を提出
- 11月 こども本の森構想推進準備室設置

令和2年

- 1月10日 第1回懇談会及びワーキンググループ合同会議
- 1月23日 第2回ワーキンググループ会議開催
- 3月17日 第3回ワーキンググループ会議開催
- 3月25日 第4回ワーキンググループ会議開催
- 5月13～22日 第2回懇談会及び第5回ワーキンググループ会議(書面による意見集約)
- 7月10日 第3回懇談会及び第6回ワーキンググループ合同会議開催
- 7月31日 第7回ワーキンググループ会議開催
- 8月7日 安藤忠雄建築研究所と遠野市が施設の寄附に係る「覚書」締結
- 8月24日 第8回ワーキンググループ会議開催

2 施設の活用方針等

(1) 施設の活用方針

想像力と創造力、子育て支援、日本3大「こども本の森」文化の継承、世界、沿岸地域とのつながり、自治会館機能

(2) 集める本の方向性

こどもの想像性、遠野らしさ、民話・童話
世界の童話・妖怪、点字絵本、12項目に区分

(3) 本の集め方

指定募集、寄附の事前申し込み、購入

(4) 沿岸との関わり

震災復興、子ども達の笑顔、支える文化、震災を伝える

3 施設の基本設計案

(1) 基本コンセプト

外観は古民家のイメージを残し、屋内は木のぬくもりが感じられ、子どもたちがワクワク・ドキドキする明るい空間

(2) 床面積

約500㎡(現況545.48㎡)

(3) 施設機能

本の施設、蔵、庭、子育て支援機能
自治会館機能など

(4) 本の施設の主な特徴

- ア 円形の階段
- イ 壁一面本棚
- ウ 活動室等